令和８年２月発行

～地域コミュニティづくりをめざして～

教育コミュニティ 北東西南 NEWS 2025

平成14年度4月に学校週5日制が完全実施となり子供たちの生活サイクルが変化していく中、子供たちの育成に取り組むことへの重要性がさらに増していくことから、学校・家庭・地域社会が協働し、様々な活動を行うこととなりました。

青少年室は、地域教育コミュニティ紙を通じて各地域の取組みなどを紹介するという目的で「北東西南（NEWS）」を平成14年7月15日に第1号を創刊し、平成15年度からは地域教育協議会の活動に加えて、こどもプラザモデル事業として始まった「太陽の広場」や「地域の学校」の活動についても紹介しています。また、平成20年度からは青少年指導者講習会を開催し、青少年の健全育成に関わっていただく方たちに、子供たちを取り巻く環境への理解や子供たちとの接し方などを学んでいただき、地域の大人の目と心で子供を見守り、育てる環境づくりを進めるための指導者の育成に取り組んでいます。

令和7年度　第1回青少年指導者講習会
令和7年度　第1回こどもプラザ事業連絡会
令和7年5月9日（金）午前10時～
「地域での青少年活動における身近な安全管理」
あいす・おおさか
山下　耕二 氏　　小松　真之 氏

毎年実施いただいていますが常に内容が更新され、毎回新たな発見があります。

近年ますますリスクが増してきている熱中症や雷への対策も話していただきました。心肺蘇生トレーニングツールの「あっぱくん」を使っての実技も、毎年行っています。このような知識や実践を経て活動のリスクを最小限に抑えられるようにしたいものです。

令和7年度　第2回青少年指導者講習会
令和7年6月10日（火）午前10時～
「不審者対応・闇バイトについて」
吹田警察署　生活安全課
防犯保安係　　池内 氏
少年係　　的場 氏
剣道上席教師　近藤 氏

昨年度に続き、吹田警察署　生活安全課の方をお招きし、不審者についての対応や避難誘導、護身術やさす股を使った実技を学びました。いざという時に、素早く判断し行動に移すことはとても難しいことではありますが、知識を学び実際に体験してみることによって、イメージしやすく、また、もしもの時にどのような行動をすればよいのかを日頃から考えておくことはとても重要であると感じました。

令和7年度　第3回青少年指導者講習会
令和7年10月7日（火）午前10時～
「本市における不登校の現状とその対応」
吹田市教育委員会事務局　学校教育部
指導主事 速水　亮仁　　指導主事 島野　良太
指導主事 栗林　秀明

本市の不登校の現状、市や学校現場での取組みである「校内教育支援教室」の設置と「居場所サポーター」の活動について具体的にお話していただきました。また、教育センターにある教育支援教室「あるくの森」について、施設の紹介や子供たちの様子などお話しいただきました。

地域でも安心安全な居場所を作る、信頼できる大人が子供とコミュニケーションを図るなど意識して活動できればと思います。

つながる ひろがる

本市では平成12年度に地域コミュニティづくりを目的として地域教育協議会を設置し、①地域教育活動事業の実施、②学校教育支援事業の実施、③指導者の養成と確保、④各種団体・組織との連絡調整を担っていただいてきました。

平成15年度には地域教育協議会に委託し、子供たちの安心・安全な居場所づくりを目的に、こどもプラザ事業「太陽の広場」「地域の学校」を開始しました。

自ら子供たちに積極的に関わり、支援することで、保護者や地域の方々の中で子供たちを育てていこうという意識が高まりました。また、これらの事業に携わっておられる皆様の御尽力により、行事やこどもプラザ事業を始め日常の活動を通して、学校と地域、地域と子供たち、子供たち同士のつながりが構築され、子供たちの居場所の確保や幅広い体験にもつながっているものと確信しています。

それから20年以上が経過し、共働き世帯の増加、価値観やライフスタイルが多様化し、ともすれば地域社会のつながりや支え合いなどが希薄になりがちな現代において、「地域の子供は地域で育てる」という考え方が次第に失われつつあるように感じます。

広辞苑によると『つながる』とは物理的な結びつきから抽象的な関係性まで多様な意味を持つ言葉であり、人と人との間で、密接で簡単に切れない関係や交流を持つこと、とあります。

子供たちの世界は、安全な場所で安心できる人と人とのつながりがあることで体験も増え、より広がっていきます。ジグソーパズルのピースをつなげて一つの絵が出来上がるように、多様な人材（ピース）をつなげて地域の特性を生かした教育コミュニティ（ジグソーパズル）を作り、皆さんの力で子供たちのよりよい未来を描いていただきたいと思います。

西山田中学校区

千里丘中学校区

高野台中学校区

第一中学校区

第二中学校区

豊津中学校区

吹一・吹六地区

第五中学校区

この広報紙では学校支援や子育て支援、大人のネットワーク拡大や子供の課題の共有化を目的として地域教育協議会※の活動や講習会の案内、報告を紹介しています。

※地域教育協議会とは・・・市内全18中学校区内に設置されており、保育園、幼稚園、小・中学校、PTA、自治会、青少年育成 に関わる各種団体、地域の有志など各地域の実態に合わせて構成され、子供たちを見守り育てる活動を行っています。

「子供たちを取り巻く環境変化」　～地域の存在が子供を成長させる～

青少年室　室長　　国本　光弘

昨年４月から青少年室の室長に就任しております国本です。よろしくお願いします。

さて、近年では、ライフスタイルの変化や人間関係の希薄化、家庭環境の多様化、SNSをはじめとしたデジタル環境の急速な変化などにより、子供たちを取り巻く環境は大きく変化し、子供たちが抱える不安やリスクも複雑化しているものと考えています。

このような社会情勢の中、地域教育協議会の皆様方には、様々な行事やイベントを通して、地域の子供・若者のために真摯な活動を続けてこられ、とりわけ、市内全35小学校で開催する「太陽の広場」での見守り活動は、地域の温かなまなざしと責任感に支えられた、かけがえのない取組です。子供たちが安心して過ごし、健やかに成長できるのは、皆様お一人おひとりの継続的な御支援の賜物であり、改めて深い敬意と御礼を申し上げます。

地域が寄り添い、見守り、支える存在であり続けることは、これまで以上に重要性を増しています。これからも、地域・家庭・学校が力を合わせ、温かな地域教育コミュニティを形成していくことが、非常に大切であると改めて感じています。

今後とも、変わらぬお力添えを賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

令和7年度　第4回青少指導者講習会

令和7年11月27日(木)午前10時～

「地域で支える子供たち

『気になる子供との向き合い方』　～発達症を知ろう～」

梅花女子大学　　伊丹　昌一 氏

子供たちに接していると、子供同士のけんかやトラブルを目にすることがあります。どんな声をかければよいのか、どのように対応すればよいのか、悩むことがあります。

伊丹先生が下さったヒント

・感情や情緒ではなく科学的な視点で関わる

・性格ではなく行動を見る

・肯定的な注目を与える

を大切に、日常から、子供を笑顔で見守っていきましょう。

こどもプラザ事業連絡会

令和7年度　第2回　こどもプラザ事業連絡会

東佐井寺小学校「太陽の広場」「ひがさいっ子ステーション」見学会　　令和7年11月19日(水)午後1時10分～

今年度は太陽の広場を毎日開催しておられる東佐井寺小学校を見学させていただきました。

参加者は　地域教育協議会会長1名、地域の学校スタッフ1名、太陽の広場フレンド7名、吹田地区更生保護女性会3名の計12名でした。

東佐井寺小学校の特徴は、太陽の広場と並行して地域の学校ーひがさいっ子ステーションを4講座実施しておられることです。絵本の読み聞かせ、バルーンアート、手芸、アイロンビーズとバラエティに富んでいます。

当日はフレンドさん2名がガイドとなって説明しながら活動場所を順番に回ってくださったので、参加された皆さんも「迷わず見られてよかった」と好評でした。

地域の中で、口コミでフレンドを獲得しているとのお話もあり、人と人とのつながりの大切さを実感しました。

見学後の交流会では今までに見たことのないような美しい虹も見ることができ、満ち足りた一日となりました。

【発行・連絡先】　〒565-0824　吹田市山田西４丁目２番43号

子育て青少年拠点 夢つながり未来館(ゆいぴあ)３F

吹田市教育委員会事務局　　地域教育部　青少年室

Tel　06(6816)9890　　Fax　06(6816)8554